

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

祝・ユネスコ世界無形文化遺産 登録

10月31日、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の補助機関は、日本の「山・鉦・屋台行事」を世界無形文化遺産に登録するよう勧告しました。11月28日からアフリカのエチオピアで始まるユネスコ政府間委員会で正式に登録されます。

この「山・鉦・屋台行事」は、全国で開催されている33件の祭礼であり、その中には、津島・愛西市で毎年7月に開催されている「尾張津島天王祭の車楽舟（だんじりふね）行事」が含まれています。

ここで、強調したいことは、登録される祭礼の正式名称は「尾張津島天王祭の車楽舟行事」であり、「尾張津島天王祭」であって「津島天王祭」ではない、「車楽舟行事」であって「巻藁船行事」ではないことです。

テレビの報道も、新聞の記事も、尾張津島天王祭の宵祭で登場する提灯をたくさん灯した巻藁船を紹介することが多く、尾張である愛西市や弥富市が務めている市江車を軽視しています。確かに幻想的な美しさを持つ津島五車、5艘の巻藁船が登場する風景が最も印象的ではありますが、正式名は車楽舟であって、巻藁船はその一形態にすぎません。

尾張津島天王祭は疫病退散を祈願するために開催され、車楽舟の中では奏楽が演奏されています。特に朝祭には、津島五車と市江車の6艘の車楽舟が登場します。市江車には10人の鉦持ち衆が乗船し、鉦持ちは、市江車が天王川公園の中心まで進むと、勇壮に天王川に飛び込み（写真）、泳ぎ、神社まで走ります。この時、津島神社の太鼓橋に張られた注連縄を切り、神社に新しい神様が入られる先導となります。このストーリーこそが尾張津島天王祭です。

ユネスコの世界無形文化遺産となる尾張津島天王祭、来年7月は、新しい神様に無病息災を祈願するために朝祭においで下さい。



国民文化祭・あいち 2016 + 商工まつり



今年は、文化庁が主催する国民文化祭が愛知県で開催され、愛知県の各市町村で多様な催し物がありました。愛西市でも11月5日（土）・6日（日）に佐屋会場（愛西市文化会館）と佐織会場（佐織公民館）で、例年通りの作品展や芸能発表会、今年は特別イベントとして、音楽会や市江車奏楽団の演奏会、研究発表会、市江車をテーマとした作品展などがありました。

11月6日（日）には、隣接する会場で、愛西市商工まつりも同時開催され、物産展には多くの市民が溢れていました。愛西市観光協会でも、商工まつりの佐屋・佐織の両会場にブースを出展し、関連グッズを販売しました。

この機会に、あいさいボランティアガイドの会は、商工まつり両会場での販売促進に協力し、また、国民文化祭の佐織会場で実施されていた展示会「尾張津島天王祭市江車行事展」（上写真）での案内を担当しました。来場者の多くから、地元暮らしをしながら知らなかった、地元の誇りある市江車行事を知ることが

出来たと評判でした。

なお、6日（日）の商工まつり佐織会場では、まつり終了後、会場横にある体育館で、11月20日に大阪で開催される「全日本マーチングコンテスト」に出場する佐織中学校のマーチングチームが、迫力ある素晴らしい演奏を披露（下写真）して、日永愛西市長をはじめ来館された大勢の方から喝采を浴びていました。

第3回あいさいフェスティバル

1月31日は、1（いち）をI（あい）と読み替え、語呂合わせで、“1. 31（あいさい）の日”、「愛妻の日」でもあり、「愛西の日」でもあります。

来年の1月31日は火曜日となりますので、愛西市観光協会が主催する“第3回あいさいフェスティバル”は、29日（日）に、愛西市文化会館を会場に開催されます。

「あいさいフェスティバル」では、USJペアチケットなど豪華景品が当たる大抽選会があります。9：10の開場時に抽選券が先着順に配布されますので、豪華景品の当選を楽しみに参加下さい。

また、表紙ページでも紹介しましたが、尾張津島天王祭がユネスコの世界無形文化遺産に登録される予定となっております。これを祝して、あいさいフェスティバルのオープニングでも市江車奏楽団による演奏が披露される予定です。500年以上続くとされ、織田信長も聞いたかもしれない雅な世界を体感下さい。また、フェスティバルの期間中、尾張津島天王祭の写真などを展示する市江車展他も開催します。

あいさい ジュニア・シニア 検定

愛西市観光協会では、下記要領で『あいさい ジュニア・シニア 検定』を開催します。住んでいる町がどんな街か、郷土のことを知ることから郷土愛は始まると考えております。『あいさい ジュニア・シニア 検定』は、昨年発行した『あいさい物語ジュニア版』をテキストとして使用し、昨年は小中学生のみを対象に実施していた事業を、今年は、子供達が、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にチャレンジしていただこうと企画されました。もちろん、小中学生のジュニアだけ、60歳以上のシニアだけでも受験可能です。シニアの方にも、頭の体操に良いと思います。

検定試験実施日時	2017年2月25日(土) 10～11時
検定試験会場	愛西市文化会館
受験資格	ジュニアとシニアの組 ジュニア(小学校4年生から中学生) シニア(60歳以上)
主催	愛西市観光協会
後援	愛西市、愛西市教育委員会
申し込み方法	愛西市観光協会などに設置してある申込書(チラシ)に必要事項を記入の上、愛西市観光協会へ応募下さい。
応募期間	2017年2月18日(土)まで
受講料	1000円 受講料は、テキスト『あいさい物語ジュニア版』(¥1000)を1冊購入すれば家族全員が免除されます。 テキストは愛西市観光協会他で販売中です。

不明点は愛西市観光協会(0567-55-9993)へ問い合わせください。

また、1月29日(日)に『あいさいフェスティバル』の一環事業として検定試験講習会が開催されます。検定試験問題を作成する講師が授業をされますので、検定試験の傾向と対策に役立つでしょう。



ここで特別に、昨年の問題を二問紹介しましょう。問題の答えを4つの選択肢から選んでください。ジュニア向けといって軽視すると意外と難しいと思います。是非、下記問題を参考にして検定に挑戦して下さい。

問題1 木曾川と長良川との間を船が行き来するために造られた閘門は次のどれですか？

選択肢 (ア) 船頭平閘門 (イ) 立田閘門 (ウ) 木曾長良閘門 (エ) 木曾閘門

問題2 問題1の閘門を造ったのはだれでしょう？

選択肢 (ア) デ・レーケ (イ) エッセン (ウ) トールン (エ) ムルデル

<解答は、4頁にあります>

～ 観光協会が関連する 今後の予定 ～

2016年

11月25～27日 あいち花フェスタ（於：弥富市総合社会教育センター）

12月 3日（土） 愛知駅伝（於：愛・地球博記念公園）

2016年12月1日～2017年1月29日

尾張津島天王祭 ユネスコ世界無形文化遺産 登録記念展示会
（主催：愛西市、於：愛西市役所）

2017年

1月29日（日） 第3回あいさいフェスティバル（於：文化会館）

2月25日（土） あいさいジュニア・シニア検定（於：文化会館）

VG 12月定例会の予定

集合時間：12月18日（日）9時～ 集合場所：愛西市文化会館
内 容：2016年度下半期の事業について

あいさいボランティアガイドの会 11月定例会 議事録

◇定例会（11月20日（日）9～11時 於：愛西市文化会館、24人出席）

1) 12月以降の行事日程について

あいさいフェスティバル、あいさいジュニア・シニア検定、VG 育成研修会について、日程を案内し、VG 育成研究会については、参加希望者を確認しました。

2) 市内案内依頼、催事参加の報告

10月～11月に依頼された案内、協力対応について、実施結果、反省点を報告しました。

3) 第2回研修旅行について

研修日程（案）を説明し、希望研修日・予算などの意見を取りまとめました。

4) その他の連絡事項

定例会後に、食事しながらの意見交換（忘年・新年会）を企画するよう提案がありました。



出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト 作品募集中

詳細は、愛西市観光協会 HP：<http://www.aisaikankou.jp> を参照下さい。

応募・問い合わせは、愛西市観光協会まで

愛西市観光協会：愛西市森川町井桁西 27 電話：0567-55-9993

3 頁の答：問題 1（ア）、問題 2（ア）